

带状疱疹予防ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹はどのように起こるか？何が問題か？どう予防するか？

水痘と带状疱疹は同じウイルスによる病気です。水痘が治ってもウイルスは体内に残ります(中年以降の90%以上がこの状態)。それが何かの拍子に活動を再開すると带状疱疹を発生します。潜んでウイルスを抑え込むのは免疫の力です。それが弱まると带状疱疹が起こりやすくなるのです(高齢者に多い理由)。したがって、水痘・带状疱疹ウイルスに対する免疫力を高めれば、带状疱疹の発症と重症化を予防できるはずですが。

带状疱疹のあとに頑固な神経痛が残ることがあり、これが一番つらい症状です(带状疱疹後神経痛)。

コロナワクチンによる带状疱疹の発症の増加は報告が相次いでおり、因果関係もあるかもしれません。

- 带状疱疹予防ワクチンの種類

① **水痘ワクチン**を流用する：弱毒化ウイルスの生ワクチン(ビケン) 1回接種

② **シングリックス**：遺伝子組み換え法の不活化ワクチン(GSK社製) 2回接種

- 2つの共通点

注射で投与し、水痘・带状疱疹ウイルスに対する特異的な免疫力を高めます。

いずれも、50歳以上の方に使用できます。

- 違い、その1...**ワクチンの効果**

「水痘ワクチン」はやや弱めです。60歳以上に使うと、带状疱疹の発症がおおむね半減し、带状疱疹後視神経痛は約1/3にまで減ります。「シングリックス」は非常に強力です。带状疱疹の発症頻度は、50歳以上の試験で3~5%にまで激減し、70歳以上でも10%程度まで大幅に下がりました。带状疱疹後神経痛もそれに見合って減少します。

- 違い、その2...**副反応**

いずれも重篤な副反応はまれです。ただ、注射部位が痛んだり腫れたりします。これは「水痘ワクチン」ではごく軽くすみませんが、「シングリックス」はかなり強いのです。また、筋肉痛や疲労感、頭痛のような全身症状も「シングリックス」に多いようです。免疫反応を強めるために配合されたアジュバンド成分がその原因と考えられています。

なお、生きたウイルスを含む「水痘ワクチン」は免疫機能低下(妊娠中、ステロイド・抗がん剤治療中の方等)の人には使えません。

- 違い、その3...**価格と注射回数**

当院価格で 「水痘ワクチン」 7,000円×1回=7,000円

「シングリックス」 21,000円×2回=42,000円

	水痘ワクチン	シングリックス
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回(2~6ヵ月後に2回目)
予防効果	50~60%	90%以上
持続期間	5年程度(5年に1回の接種が必要)	9年以上
副反応	接種部位の痛み、腫れ、発赤 (3日~1週間で消失)	接種部位の痛み、腫れ、発赤 (3日~1週間で消失)
料金	7,000円/1回(税込み)	21,000円/1回(税込み) ※2回の接種が必要です。
特徴	免疫力低下している方は接種できない	免疫力低下している方にも接種できる